

この度は、平成 27 年 10 月 27 日～10 月 31 日まで「平成 27 年度医療技術等国際展開推進事業」として、ベトナム南部の拠点病院・チョーライ病院の循環器内科を訪れました。チョーライ病院における循環器科は、Department of cardiology, Department of cardiovascular intervention, Department of cardiovascular surgery 部門に分かれていて、今回は Dr Liem がチーフである Department of cardiology においてレクチャー、症例検討を行ってきました。チョーライ病院には、心エコー、64 列 MDCT、PET/CT、1.5T MRI などの最新機器が備わっており、心臓疾患に関する診断・治療技術のレベルは、日本とそれほど変わらないくらいでした。侵襲的な治療の必要があれば cardiovascular intervention 部門、cardiovascular surgery 部門に紹介するシステムであり、筑波大学循環器内科と異なっていました。しかしながら、心不全患者に対する心臓リハビリテーションの重要性などが認識されておらず、心臓リハビリテーションの導入が必要であり、心臓リハビリ専門医、理学療法士、看護師などの心臓リハビリチームで今後の心臓リハビリテーションの導入に関して協力が必要であると思われました。また、日本に来て勉強したいという多くの研修生の希望があり、研修生の受け入れを積極的に行う必要性を感じました。